

【 α -オリゴ糖】、糖質・糖類で機能性表示第1号
“小型LDLの抑制”でも届出準備中

シクロケム

(株)シクロケム(東京本社:東京都中央区)は、『難消化性 α (アルファ)オリゴ糖』の機能性研究に注力している。

今年に入り、グループ会社の(株)コサナを通じて機能表示食品『難消化性 α (アルファ)オリゴ糖』(届出番号:D507)が受理された。機能性関与成分は、難消化性糖類に分類される α -シクロデキストリン。表示内容は「 α -シクロデキストリンは食後の血糖値上昇を抑えることが報告されています。本品は食後の血糖値上昇を抑えたい方に適しています」。昨年4月から対象に加わった「糖質・糖類」カテゴリーで初の受理となった。1日あたり摂取目安量は5g。「砂糖を摂取した後の血糖値の上昇抑制効果も期待できる」と

している。

また現在、“血中LDLコレステロールの上昇抑制効果”についてもSRの作成に取り組んでいる。

同社では、「LDLとHDLのバランスが大切」としたうえで、「LDLは細胞の中で必要なもの。LDL自体が体に悪影響を及ぼしているのではなく、“小型LDL”が動脈硬化などの危険因子に深く関与していることがわかってきた」と話す。

『難消化性 α -オリゴ糖』に、健常人によるヒト試験で小型LDLの産生抑制作用のあることが確認され論文化されているので、“小型LDLの抑制”をうたえる機能性表示食品の準備を進めていく。同社では、「新しい健康機能に加え、一般消費者にも広く理解してもらえらるきっかけにしたい」と意気込む。